

■コメント

1. 風しん

1件の報告があり、今年の累計は11件となりました。

風しんは感染者の飛まつ(唾液のしぶき)などによって他の人にうつる、感染力の強い感染症です。妊娠初期の女性が風しんウイルスに感染すると、赤ちゃんが先天性風しん症候群(難聴、白内障、心疾患等)を発症する可能性があるため、特に注意が必要です。

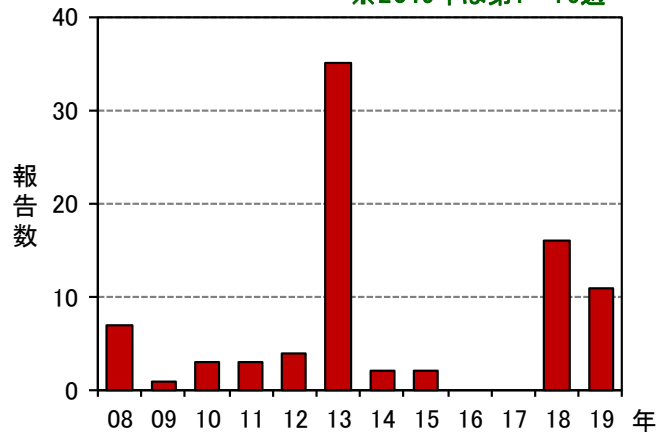
風しんの感染拡大を防止するためには、これまで風しんの定期接種を受ける機会のなかった世代の成人男性の抗体保有率を上げる必要があります。(次頁参照)

2. 後天性免疫不全症候群

1件の報告があり、今年の累計は4件となりました。

風しんの年間報告数の推移

※2019年は第1～16週



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
小児科	インフルエンザ	40	1.11	1.91		
	咽頭結膜熱	7	0.30	0.47		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	53	2.30	2.82		
	感染性胃腸炎	138	6.00	9.34		
	水痘	3	0.13	0.46		
	手足口病	4	0.17	0.77		
	伝染性紅斑	8	0.35	0.24		
	突発性発しん	11	0.48	0.43		
	ヘルパンギーナ	-	-	0.16		
眼科	流行性耳下腺炎	-	-	0.49		
	RSウイルス感染症	15	0.65	0.13		
	急性出血性結膜炎	-	-	0.03		
	流行性角結膜炎	3	0.38	0.75		
基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		
	無菌性髄膜炎	-	-	-		
	マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.06		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	7	1.00	1.26		

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	53	女性(70歳代)、男性(80歳代)
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	2	女性(70歳代)
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	3	女性(90歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	4	男性(20歳代)・感染者
5	侵襲性肺炎球菌感染症	3	13	男性(70歳代)・2人、女性(70歳代)・1人
5	梅毒	1	22	女性(20歳代)
5	百日咳	3	20	女性(10歳未満)、女性(10歳代)、女性(80歳代)
5	風しん	1	11	男性(50歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶血性 レンサ 球菌咽頭 炎	感染性胃 腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウィ ルス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎	(感染性 胃腸炎 (ロタウ イルス)
報告数	広島市	第12週	105	5	48	143	2	1	7	11	-	4	18	-	2	-	-	-	-	1
		第13週	59	2	59	117	13	4	6	10	-	3	14	-	8	-	-	-	-	4
		第14週	53	3	53	138	13	1	8	5	-	2	15	-	5	-	1	1	-	8
		第15週	62	4	65	141	7	3	2	4	1	1	18	-	2	-	1	1	-	4
		第16週	40	7	53	138	3	4	8	11	-	-	15	-	3	-	-	1	-	7
定点当 たり	広島市	第12週	2.92	0.22	2.09	6.22	0.09	0.04	0.30	0.48	-	0.17	0.78	-	0.25	-	-	-	-	0.14
		第13週	1.64	0.09	2.57	5.09	0.57	0.17	0.26	0.43	-	0.13	0.61	-	1.00	-	-	-	-	0.57
		第14週	1.47	0.13	2.30	6.00	0.57	0.04	0.35	0.22	-	0.09	0.65	-	0.63	-	0.14	0.14	-	1.14
		第15週	1.72	0.17	2.83	6.13	0.30	0.13	0.09	0.17	0.04	0.04	0.78	-	0.25	-	0.14	0.14	-	0.57
		第16週	1.11	0.30	2.30	6.00	0.13	0.17	0.35	0.48	-	-	0.65	-	0.38	-	-	0.14	-	1.00
	全国	第14週	1.46	0.28	1.94	5.35	0.32	0.17	0.56	0.39	0.04	0.08	0.44	0.01	0.62	0.03	0.02	0.09	0.01	0.52
		第15週	1.67	0.31	2.26	6.30	0.31	0.28	0.58	0.44	0.04	0.08	0.52	0.01	0.55	0.02	0.04	0.12	0.01	0.63

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(38.6) 上気道炎 頭痛 鼻炎 関節痛	31 男	2019/03/15	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	発熱(38.6) 咽頭炎	8 女	2019/03/12	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T1型
感染性胃腸炎	発熱(38.0) 嘔吐下痢 腹痛	3 女	2019/03/02	糞便	A群ロタウイルス
ヘルパンギーナ	発熱(38.6) 咽頭炎 鼻炎	0 男	2019/03/06	咽頭拭い液	ハレコウイルス3型 ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.2) 下気道炎	4 女	2019/03/13	鼻汁	RSウイルス
その他の発疹性疾患	発熱(39.2) 網状皮斑	0 女	2019/03/07	咽頭拭い液 尿	ハレコウイルス3型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市における成人男性の風しん抗体検査・予防接種について

広島市では、国の方針に基づき、平成31年度から2022年3月31日までの3年間に限り、抗体保有率の低い世代の男性(1962年(昭和37年)4月2日～1979年(昭和54年)4月1日生まれ)に対し無料で風しんの抗体検査及び予防接種を実施することになりました。

対象者には、広島市から抗体検査と予防接種を受けるためのクーポン券を住民登録された住所に順次郵送します。なお、平成31年度は1972年(昭和47年)4月2日～1979年(昭和54年)4月1日生まれの男性にクーポン券を送付しました。抗体検査の結果、十分な量の抗体がないことが判明した方は、予防接種を受けましょう。

- * 成人男性の風しん抗体検査・予防接種についての詳細は、以下のホームページからご確認ください。
- ・風しんの追加的対策について(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/index_00001.html
- ・成人男性の風しん抗体検査・予防接種(対象者の皆様へ)(健康推進課)
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1552439189257/index.html>
- ・成人男性の風しん抗体検査・予防接種(医療機関の関係者様へ)(健康推進課)
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1553250811489/index.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2019年第16週(4月15日～4月21日)